

平成29年第1回定例会 市民厚生常任委員会審査記録（第2日目）

- 1 日 時 平成29年3月8日（水） 午前9時59分
- 2 場 所 市役所 第一委員会室
- 3 議 題 議第36号 公の施設に係る指定管理者の指定について
 議第45号 平成28年度村上市介護保険特別会計補正予算（第3号）
 議第13号 平成29年度村上市国民健康保険特別会計予算
 議第14号 平成29年度村上市後期高齢者医療特別会計予算
 議第15号 平成29年度村上市介護保険特別会計予算
- 4 出席委員（9名）
- | | | | |
|----|--------|----|--------|
| 1番 | 板垣一徳君 | 2番 | 板垣千代子君 |
| 3番 | 小林重平君 | 4番 | 山田勉君 |
| 5番 | 竹内喜代嗣君 | 6番 | 長谷川孝君 |
| 7番 | 小杉和也君 | 8番 | 渡辺昌君 |
| 9番 | 尾形修平君 | | |
- 5 欠席委員
なし
- 6 委員外議員
- | | | |
|--------|--------|-------|
| 小杉武仁君 | 本間善和君 | 鈴木好彦君 |
| 稲葉久美子君 | 鈴木いせ子君 | 姫路敏君 |
| 小田信人君 | 大滝国吉君 | |
- 7 地方自治法第105条による出席者
議長 三田敏秋君
- 8 オブザーバーとして出席した者
なし
- 9 説明のため出席した者
- | | |
|----------------|--------------|
| 副市長 | 忠聡君 |
| 保健医療課長 | 菅原順子君 |
| 同課国保室長 | 信田和子君 |
| 同課国保室副参事 | 佐藤克也君 |
| 同課国保室係長 | 東敏之君 |
| 同課健康支援室長 | 佐藤るり子君（課長補佐） |
| 介護高齢課長 | 富樫孝平君 |
| 同課課長補佐 | 志田淳一君 |
| 同課介護保険室長 | 大滝慈光君（課長補佐） |
| 同課介護保険室係長 | 小池道香君 |
| 同課介護保険室係長 | 近藤知子君 |
| 同課地域包括支援センター長 | 田中加代子君（係長） |
| 同課地域包括支援センター係長 | 田嶋真理子君 |
| 福祉課長 | 加藤良成君 |
| 同課参事 | 松田明君 |
| 同課福祉政策室長 | 木村静子君（課長補佐） |
| 同課福祉政策室副参事 | 浅野宏君 |

同課子育て支援室長	平山祐子君（課長補佐）
同課子育て支援室係長	永田ルミ君
同課子育て支援室係長	三須香代君
同課子育て支援室係長	伊藤良子君

10 議会事務局職員

局長	田邊 覚
書記	百武 美奈

（午前9時59分）

委員長（尾形修平君）開会を宣する。

○当委員会の審査については、審査日程どおりに進むことに異議なく、そのように決定し、本日は市民厚生常任委員会所管分についての保健医療課、福祉課及び介護高齢課所管分の案件を議題とする。

日程第3 議第36号 公の施設に係る指定管理者の指定についてを議題とし、担当課長（福祉課長 加藤良成君）から議案の説明を受けた後、質疑に入る。

（説明）

福祉課長

皆さん、おはようございます。議第36号は公の施設に係る指定管理者の指定についてである。本案は、あらかわ病児保育センターに係る指定管理者の指定についてお願いするものである。指定管理者の指定に係る資料の2P、3Pをごらんになっていただきたいと思う。公の施設の名称は、あらかわ病児保育センターである。指定管理者となる団体は、村上市上の山2番16号、学校法人北都健勝学園・社会福祉法人真心福祉会共同事業体、代表法人、学校法人北都健勝学園理事長、的場已知子である。指定の期間は、平成29年7月1日から平成32年3月31日までの2年9カ月である。指定管理者選定委員会での選定の主な理由としては、学校法人北都健勝学園・社会福祉法人真心福祉会共同事業体は、学校法人北都健勝学園のバックアップにより、医師、看護師など医療にかかわる専門職による指導助言が可能であり、病児保育に携わる職員の専門性の向上と質の高いサービスの提供が期待できること。保護者にかわって病児の世話をすることだけではなく、児童の心のつえとなることを第一としていることから、病児に対するトータル・ケアの確立と子供の健康と幸福を守るための活動が期待できること。さらに、施設管理経費の縮減に努め、効率的な施設運営が期待できることである。指定管理者となる団体の概要については、代表法人を学校法人北都健勝学園とした社会福祉法人真心福祉会との共同事業体である。学校法人北都健勝学園は、「人の心の杖であれ」を建学の精神として、平成7年4月に新潟リハビリテーション専門学校を開校した。平成22年4月には新潟リハビリテーション大学を開校するなど、市唯一の高等教育機関として医療従事者の人材育成に貢献している。また、社会福祉法人真心福祉会は、多様な福祉サービスにより利用者が心身ともに健やかに育成されるように支援することを目的に、平成21年5月に設立された。認可保育所としてはまごころ保育園しばた、まごころ保育園せいらうなどを運営している。市内においては、平成26年4月に大津地内に特別養護老人ホーム村上まごころの里を開設している。次に、4Pをごらんになっていただきたいと思う。市の判断については、選定結果を適当と認め、学校法人北都健勝学

園・社会福祉法人真心福祉会共同事業体をあらかわ病児保育センターの指定管理者として指定するものである。施設管理及び運営の提案趣旨についてはお示ししたので、あわせて参照していただければありがたいと思う。以上、よろしく願います。

(質 疑)

竹内喜代嗣 お伺いする。金額3,956万3,000円という指定管理料なのだが、これというのはほぼ人件費がほとんどだと思う。人件費を3年間でこの金額ということにしたのだが、お伺いしたいのは、この金額を算定するに当たって看護師さんの賃金等は1人当たり時間給で幾らぐらいで設定したのか。

福祉 課長 時間給については、臨時職員の看護師は村上市の臨時職員の関係のやつを使っているし、それから月においては厚生労働省が公表している賃金構造基本統計調査をもとにして計算している。

竹内喜代嗣 管理経費を15%上積みした場合、この金額になるのか。

福祉 課長 管理経費というか、指定管理料の内訳としては今言った人件費、それから旅費、消耗品、燃料費、それから水道光熱費、修理費、それから役務費、委託料、それから医療機関の協力費、指導員の協力、それから負担金というようなことである。

竹内喜代嗣 そうすると、いわゆる管理経費というのは北都健勝学園がこれを経営運営するのだけれども、そのことに当たって必要な、簡単に言えば理事者側のいろんな諸経費、いわゆる利益も含んでということになるのだが、今の説明だと入っていないような感じなのだが、いかがか。

福祉 課長 今ご説明した経費ということである。

小杉 和也 2Pの下のところ総合点の得点が高いことによりということがあって、3Pの初めに候補者選定に至った主な理由ということで書いてあるのだけれども、特に高かったような項目というのはあるのか、北都健勝学園が。こういった評価がよかったというのがあるか。

福祉 課長 一番点数が高かったというのが、施設の効用を最大限発揮できるかというような項目の点数が一番高かったということである。

〔委員外議員〕

本間 善和 新規の事業ということだね。それなので特にお聞きしたいのだが、新規事業の事業説明書のところで4名の定員になっている。それで通常スタッフというのは何名ぐらいの方を考えているのか。

福祉 課長 通常看護師1名、それから保育士1名、一応事務員1名をスタッフとして。

本間 善和 看護師1名、それから・・・

福祉 課長 保育士1名、あと事務の方を1名と。

本間 善和 もう一点ちょっとお聞きさせてほしい。村上市及び関川村に住居を有する方が応募というか、入ってもいいという格好になっているわけだが、この運営費、はっきり言えばこの今の経費、指定管理の。これ関川村からも出るのか。

福祉 課長 利用者に応じて一応負担としてもらう予定にしている、負担金としていただく。一応運営費については子ども子育て支援交付金というのがあって、国から3分の1、それから県から3分の1と、残りの3分の1が地元負担ということになるので、そういった中で利用者に応じてその部分について負担してもらう。そのほかに使用料を引っ張って、そういった形で計算していく。

姫路 敏 今回の看護師さんと保育士さんと事務員さん1名ずつ、3人になる。3年間だから3で割ると今割り算したのだけれども、約1,320万円ぐらいなのだ。その中に維持管理費、建物の維持管理費が含まれた中で3名の人件費というのは、これで賄われるのかなど、不思議なのだ。この3名の時間的な配置というのか、そういったところというのはどんなふうな形になっているのか。例えば3時間だけとか2時間なのだとかということなのか。あとどこかにいて来るとか。その辺ちょっと聞かせていただきたい。

福祉 課長 開設時間は午前8時から午後の6時までというようなことで10時間になっている。その中でさっき言ったように、看護師さん1名、それから保育士さん1名、それから事務員さん1名というような形の中でしてもらおうと。一応うちのほうとしては8時間の職員をそれぞれ1名ずつと。あと残りの者については臨時と、それぞれのことを、10時間あるので、それを越えた部分については臨時というふうな形で考えているけれども。

姫路 敏 答弁の理解ができないのだけれども、看護師さん1名、保育士さん1名と事務員1名の3名体制で行うということは先ほど答弁なさっていたけれども、私は質問を3名ということになって8時間から働くということになれば、1人年間収入考えても、例えば最低限300万円だったとしてもそれだけで900万円になってしまう。そこにプラス維持管理費だの何だのかんだのと入れていけば、1,300万円で1年間の賄いができるのかと、不思議なところに到達するわけ。だから、時間でも短いなのかと思っただけで今質問したらそうではなくて8時間で、合わせて10時間だということから、そうしたらとてもではないが、これでは指定管理料としてみればやっていけないのかなど、人件費も含まれているわけだね、ここに。大丈夫なのというところだ。中途半端な仕事になってしまうと大変なので、お金いっぱいあげて、そして働いてもらうのが筋だと思うのだ、はっきり言って。いかがか、この辺、どんな体制になっているのか。

子育て支援室長 今回の人件費の部分なのだけれども、うちのほうで試算したときには今課長答弁したように、10時間ということで看護師1、保育士1、事務職1、プラスそこに時間外というのか、10時間なので一般の勤務以外の者を臨時職員で充てるということで積算はしていたけれども、今の共同事業体、上がってきた内容を見ると、あくまでも保育士1、看護師1、事務1ということで専属の人数だけ上げていて、残りの不足分については共同事業体のほうでは人材育成というのか、研修を兼ねた者ということで、事業体の中から職員を派遣すると、教育の一環として職員を派遣するというので、その分の経費が浮いているものと思う。

(討 論)

竹内喜代嗣 簡潔に申し上げる。これが公契約条例が結ばれているのであれば、先ほどの説明を聞いていると賃金そのものであるから、これでは全く、先ほど姫路議員からも質問あったように・・・

姫路 敏 賛成だよ、俺を巻き込まないで。

竹内喜代嗣 要するに人件費に対してプラス15%程度の他市の公契約条例を見れば。そのかわり実際に賃金が支払われていないことが、当該労働者から通告があった場合には罰則規定もあるし、あるいは損害賠償の規定もある。損害賠償の規定の説明もなかったし、これは私は北都健勝学園または理事長さんに不満があるわけではないが、これ

をそのまま引き受けてしまうと、実際に働く労働者の皆さんが賃金が確保されないで混乱を来すであろうということを指摘して反対する。

以上で質疑を終結し、起立による採決を行った結果、議第36号は、起立多数にて原案のとおり可決すべきものと決定した。

日程第4 議第45号 平成28年度村上市介護保険特別会計補正予算（第3号）についてを議題とし、担当課長（介護高齢課長 富樫孝平君）から議案の説明を受けた後、質疑に入る。

（説明）

介護高齢課長 それでは、議第45号、平成28年度村上市介護保険特別会計の補正予算（第3号）についてご説明する。今回の補正は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,300万円を追加し、予算の規模を77億920万円にしようとするものである。補正の主な内容は、介護サービス給付費に不足が生じることから補正をお願いするものである。

7P、8Pお聞き願いたいと思う。歳入であるけれども、第1款保険料1,046万9,000円、決算見込みにより計上させていただいた。それから、第4款国庫支出金、第5款支払基金交付金、第6款県支出金とも保険給付費の補正により負担割合などにより計上させていただいた。それから、第8款繰入金、第1項1目介護給付費繰入金、保険給付費の補正により負担割合により662万5,000円を計上させていただいた。

次に、9P、10Pをお聞き願いたいと思う。第2款保険給付費の第1項第3目地域密着型介護サービス給付費5,300万円をお願いするものであるが、平成28年4月から定員18人以下の通所介護、デイサービスであるけれども、地域密着型通所介護に移行されたこと、それから介護認定者数の増加により利用件数等が増加しており、今後給付費に不足が見込まれることから補正をお願いするものである。以上である。

（質疑）

（「なし」と呼ぶ者あり）

〔委員外議員〕

（「なし」と呼ぶ者あり）

以上で質疑を終結し、討論を求めたが討論なく、起立による採決を行った結果、議第45号は、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと決定した。

日程第5 議第13号 平成29年度村上市国民健康保険特別会計予算を議題とし、担当課長（保健医療課長 菅原順子君）から議案の説明を受けた後、質疑に入る。

（説明）

保健医療課長 それでは、よろしく願います。議第13号 平成29年度村上市国民健康保険特別会計予算である。歳入歳出の総額はそれぞれ76億6,800万円とするものである。それでは、277Pをお聞きください。1款1項国民健康保険税が11億2,961万3,000円で、前年度に比べて6,471万6,000円の減額となっている。これは被保険者数の減少や2割、5割軽減の所得基準の見直しによる軽減対象者の拡大等から前年度と比較して減額になっている。

次に、279Pをお開きください。4款1項1目療養給付費等負担金であるが、10億3,771万3,000円で1億1,676万8,000円の減額になっている。これは被保険者数の減少による医療給付費の減と、控除額である交付金等の増によりこの交付金が減少となっている。

6款1項1目前期高齢者交付金であるが、21億5,373万円で3億5,220万7,000円の増になっている。これは65歳から74歳までの前期高齢者について国保と被用者保険で加入者割合が偏在しているための調整の交付金である。

281Pをごらんください。9款共同事業交付金であるが18億1,849万円で、1,315万2,000円の増額になっている。これは高額な医療費が発生した市町村に新潟県国民健康保険団体連合会から交付される交付金である。高額医療費共同事業交付金は、レセプト1件当たり80万円を超える部分、保険財政共同安定化事業交付金は1円から80万円までの部分の100分の59が交付される。

続いて歳出であるが、287Pをお願いする。2款保険給付費であるが、46億8,064万円で1億9,825万5,000円の減額である。これは平成27年度までの医療費の実績、平成28年度決算見込み及び被保険者数の推移の見込みを参考に積算してある。

次に、289Pをお開きください。3款1項後期高齢者支援金等であるが、7億6,520万6,000円で1,011万9,000円の減額になっている。これは前々年度の精算を含むため、平成27年度の確定額が納付額を下回ったため前年度を下回る支援金額見込みとなった。

次に、291Pをごらんください。6款1項1目介護納付金であるが、3億1,251万4,000円で5,245万2,000円の増額になっている。これは40から64歳の介護保険2号被保険者に係る保険料相当額を納付するもので、負担見込み額の通知により増額の見込みである。

293Pをお願いする。7款1項共同事業拠出金17億928万3,000円、624万4,000円の減額である。市町村国保が新潟県国民健康保険団体連合会に拠出するもので、各保険者の実績で案分して算出されるものである。

8款1項1目保健事業費であるが、6,343万円計上した。特定健診委託料3,439万4,000円、人間ドック健診事業委託料900万円計上した。以上である。

(質 疑)

(歳入)

竹内喜代嗣

歳入でお伺いする。まず、国民健康保険税が前年度予算額よりも減っているわけだけれども、これは私ども日本共産党で来年度予算、今年度4月以降の予算について要望を出したときに国民健康保険税を引き下げてくださいというふうに尋ねたときに、単年度収支では赤字だという説明があったのだけれども、その赤字だという話はこれを見ると、収支でいうとこうなっているのだがお伺いする、どういうことかということ。

保健医療課長

財源不足については給付準備基金を活用する予定である。

竹内喜代嗣

そうすると、この3月から県統合に向けて委員会が立ち上がるということではあるのだけれども、そうすると準備基金の残高はこの予算でいくとどのぐらい、単年度で赤字なのだから、ことしもやり過ぎすと、過ぎていくということなのだが、どんなものなのか。

保健医療課長

今年度の予算をつくるためには基金から1億8,000万円を繰り入れて今年度の予算

は立ててあるのだが、平成29年度の分としては一応2億円基金があるので、1億8,000万円を引いた2,000万円を新年度予算のほうに入れて計画を立てたということである。

竹内喜代嗣 つまり財源留保金を使って今年度の補正でやっていって、それで新年度では2億円を準備基金を取り崩すということでもいいのか。
保健医療課長 そうである。

〔委員外議員〕

姫路 敏 282Pの一番上の支援交付金なのだが、これ県の国保調整の交付金だと思うのだ。平成27年度で県として11億6,200万円、県から全市町村に出しているわけであるが、その中で村上市が19番目、3,444万1,000円、同じ金額がここにのってくるのであるが、これに関して新発田市あたりは、私も一般質問で言ったように人間ドック等々相当気合い入れているので1番になっている、大体交付金としていただくものが。なぜ平成27年度と同じ金額をここにのせてきているのかということと、こののはみんな特定健診あるいは健康診断に使われているのかという部分なのであるが、それは支出の部であるけれども、そのことについてちょっとお聞かせいただきたい。同じ金額をのせてきている。

保健医療課長 支援交付金については調整交付金で、市の保健事業を評価した点数によってお金が入ってくるというものである。

姫路 敏 それはわかる。

尾形委員長 今の質問は、何で去年と同じ金額がのっているのだという質問の意図なので。

保健医療課長 調整交付金の評価というのは単年度、単年度でももちろんやられるわけであるけれども、点数がやっぱり年度によって上下するというのはあるので、確定した金額というのは出せないということで、前年度と同じ金額で出した。

姫路 敏 わかった。そんなに乱高下がないということは、何もしていないと、逆に。もう少し気合い入れているいろんなことをすれば交付金の点数が上がってくるのだ、点数が。点数が上がるイコール交付金額がふえるということ。要するに人間ドックもやればやるほどこれは健康増進のための点数が上がってくる。そういう部分で言うともう少し健康診断とか、この前も一般質問で言ったようなことに気合いを入れてやっていくと、これは点数が上がるのだよということ、ここを上げるためにもう少し努力してもらいたいと、こういうことなのであるが、どうか。

保健医療課長 保健事業に関しては村上市はかなり点数をとれていて・・・

姫路 敏 19番目で。

保健医療課長 地域差指数ということで、医療費関係のことは保険者努力ではなかなか難しいという実態があって、そのあたりが一番今回は点数がとれないところである。

(歳出)

竹内喜代嗣 285Pの徴税費のことでお伺いをする。

(何事か呼ぶ者あり)

竹内喜代嗣 いいんだよね。徴税費のことで聞きたいのだが、いいのよね。

尾形委員長 いい。

竹内喜代嗣 お伺いしたいのは、現在の払いたくても払えないということで分割で納入したりあるいは最悪の場合は新発田の徴収機構に送られて大変な思いで過ごされている方も

〔委員外議員〕

姫路 敏 294Pの特定健診委託料が3,439万4,000円、それで人間ドック健診事業委託料として900万円ということでの2つあるけれども、人間ドックを創設したときに特定健診のほうでやって1万円ぐらい1人かかるということで、そういうのであれば人間ドックのほうは1万円の補助にしようということでこれつくった経緯があると思うが、それでいいのか。そういう経緯でつくったということで確認、それでいい、そうだと思うのだけれども、

保健医療課長 それでいいと思う。

姫路 敏 人間ドック今恐らく700人ぐらいかなと思うのだけれども、900万円ということは200人ぐらいふやしてやっていこうという心構えでいるということではよろしいのか。

保健医療課長 ふやしたいと思っている。

本間 善和 ちょっと私勉強不足で、ことしから拡充するという歯科の・・・
（「国保」と呼ぶ者あり）

本間 善和 この次のときに聞かせてもらう。

（討 論）

竹内喜代嗣 反対討論を行う。資格証の方が192名いるが、県内の自治体では資格証については廃止、やめたところがある。それはなぜかということ、生存権にかかわることがあるわけである。お金がないから払えない、払えないのに資格証でお金を全額一旦払わなければ病院にもかかれないという方がいる。命にもかかわることなので資格証制度については転換すべきだということで反対討論とする。

以上で質疑を終結し、起立による採決を行った結果、議第13号は、起立多数にて原案のとおり可決すべきものと決定した。

日程第6 議第14号 平成29年度村上市後期高齢者医療特別会計予算を議題とし、担当課長（保健医療課長 菅原順子君）から議案の説明を受けた後、質疑に入る。

（説 明）

保健医療課長 それでは、議第14号 平成29年度村上市後期高齢者医療特別会計予算について、よろしく願います。歳入歳出の総額はそれぞれ6億5,000万円とするものである。311Pをお開きください。最初に歳入についてであるが、1款1項後期高齢者医療保険料が4億2,892万4,000円で、2,446万1,000円の増額になっている。これは医療費保険制度改革の一環である保険料軽減特例の見直しに係る影響額によるものである。

3款1項1目一般会計繰入金2億1,527万8,000円を計上した。保険基盤安定繰入金は1億9,922万9,000円で、これは低所得者に対する保険料軽減相当額を県と市で補填する制度である。負担割合は県が4分の3になっている。

313Pをお開きください。2款1項1目後期高齢者医療広域連合納付金では6億2,820万4,000円を計上した。

3款1項1目保健事業費であるが467万4,000円計上した。湯づくり・湯ったり事業委託料200万1,000円、湯ったり塾業務委託料267万3,000円ということで計上させていただいた。以上である。

(質 疑)

(歳入)

(「なし」と呼ぶ者あり)

[委員外議員]

(「なし」と呼ぶ者あり)

(歳出)

小杉 和也 314Pの湯っくり・湯ったり事業委託料であるけれども、国保のほうにも同じのが上がっていて、こちらは500万円、500万円で予算は同じだけれども、後期高齢者の部分は昨年度が181万1,000円、今年度が200万1,000円、この辺は実績とかなのか、それとも力を入れたいというあらわれなのか、いかがか。

保健医療課長 実績で計上した。

小杉 和也 業務委託料がかなり、昨年度128万4,000円から今年度267万3,000円だけれども、この辺何か新規に取り組むとかこの辺力を入れるとか、その辺のところはあるのか。

保健医療課長 介護からの送迎バスの委託料が昨年度と比べてふえている。それで予算がふえた。

小杉 和也 特に何かというわけではなくて、バス代だけという理解でよろしいか。

保健医療課長 はい。

小杉 和也 わかりました。

竹内喜代嗣 介護保険では先ほどと同じことをお聞きする。滞納されている方がいて、介護保険証の発行がどのようになっているのかお伺いする。

(「後期高齢者だよ」と呼ぶ者あり)

竹内喜代嗣 国民健康保険ではなくなっている人の場合。

保健医療課長 今資料を持ち合わせていないので、後でお知らせしたいと思う。

尾形委員長 竹内委員、よろしいか。

竹内喜代嗣 よろしくないが、わかった。

[委員外議員]

本間 善和 314Pの湯ったり塾のことなのだけれども、今実施している1月から3月までという温泉に入って云々という事業だね。課長のときにも以前ちょっと話したことがあるのだけれども、私市民の皆様から湯ったり塾、お風呂入るとき、毎回のように入浴証を出さなければならないということで、事業はいいのだけれども、高齢者にすれば毎回入浴証を持っていかなければならないということで検討していただきたいという、耳に入ってきた。お話しして検討してくれということをお願いしていたのだけれども、その結果はどうだったかお聞きしたいと思って。

保健医療課長 平成29年度に向けて簡素化できるところは簡素化しようということで、課内では検討している。

(討 論)

竹内喜代嗣 反対である。判断のしようがないような審議では反対するしかない。

以上で質疑を終結し、起立による採決を行った結果、議第14号は、起立多数にて原案のとおり可

決すべきものと決定した。

日程第7 議第15号 平成29年度村上市介護保険特別会計予算を議題とし、担当課長（介護高齢課長 富樫孝平君）から議案の説明を受けた後、質疑に入る。

（説明）

介護高齢課長 それでは、議第15号、平成29年度村上市介護保険特別会計予算についてご説明する。歳入歳出予算の総額はそれぞれ76億5,700万円を計上するものである。328P、329Pお聞き願いたいと思う。歳入の主なものであるが、第1款保険料で13億9,646万8,000円を計上した。対前年度比0.3%の増である。

それから、第4款国庫支出金では介護給付費負担金、調整交付金、地域支援事業交付金で18億7,677万6,000円を計上した。対前年度比3.7%の増である。

第5款支払基金交付金であるが、P330、331お願いしたいのだが、介護給付費交付金、地域支援事業支援交付金で20億4,626万7,000円を計上した。対前年度比2.3%の増である。

次に、第6款県支出金であるが、介護給付費負担金、地域支援事業交付金で10億9,656万5,000円を計上した。対前年度比2.2%の増である。

それから、第8款繰入金であるが、一般会計繰入金、基金繰入金で12億3,275万4,000円を計上した。対前年度比3.3%の増である。

次に、歳出のほうをお願いしたいと思うが、334P、335Pをお願いする。第1款総務費、第1項第1目の一般管理費では職員人件費のほか、次期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定業務委託料として144万円を計上させていただいた。

次に、336P、337Pをお願いする。第2款保険給付費であるが、平成27年度決算額及び平成28年度の決算見込み、介護認定者数などをもとに推計しまして71億7,910万9,000円を計上させていただいた。対前年度比で2.2%の増である。次に、340P、341Pをお願いする。第2項介護予防サービス等諸費であるが7,746万3,000円を計上させていただいた。対前年度比マイナス26.7%である。主な要因は平成28年度から新しい介護予防日常生活総合事業に取り組んで、要支援者が利用する通所介護、訪問介護サービスが介護予防給付から地域支援事業に完全に移行したため、第1目介護予防サービス給付費4,530万円、対前年度比マイナス44.1%の減となっている。

次に、344Pをお願いする。第3款地域支援事業費であるが、2億8,186万8,000円を計上させていただいた。対前年度比13.3%の増となっている。これについては要支援者が利用する通所介護訪問サービスが介護予防給付から地域支援事業に完全に移行したため、第1項第1目介護予防・生活支援サービス事業費1億357万円、対前年度比64.6%の増となっている。次に、346Pをお願いする。第2項第1目一般介護予防事業費2,391万円であるが、説明欄の1の介護予防把握事業経費613万2,000円、2の介護予防普及啓発事業経費1,549万2,000円、3の地域介護予防活動支援事業経費の通所型介護予防事業委託料182万3,000円であるが、新たなサービスの一つとして住みなれた地域で生活支援や介護予防を行う通いの場を設置し、週1回から2回、1日高齢者がそこで過ごす拠点を、今年度は新たに1カ所モデル地区を追加して3地区の経費を計上した。4の地域リハビリテーション活動支援事業経費34万円であるが、昨年に引き続き理学療法士、作業療法士などを活用して介護予防の取り組みについて機能を強化するための経費である。次に、348Pをお願いする。第3項5目生活支援体制整備事業費2,473万1,000円、対前年度比9.1%の増である。説明欄の1の生活

支援体制整備事業経費342万3,000円だが、生活支援サービスを提供するため、支え合いの地域づくりを進める場として協議体の開催や、地域支え合い推進員として各地区に生活支援コーディネーターの配置費用などを計上している。平成29年度からについては、地域の中で今ある支え合いの実態把握などを進めることとしている。350Pをお願いします。第6目認知症総合支援事業費121万9,000円、認知症カフェの開催、認知症サポーター養成講座の開催、それから認知症の方が徘徊したときに対応できるようにステッカーの作成や、今年度新たにGPS機器の貸与費用、それから認知症初期集中支援チーム設置費用などを計上している。説明は以上である。よろしくをお願いします。

(質 疑)

(歳入)

(「なし」と呼ぶ者あり)

[委員外議員]

(「なし」と呼ぶ者あり)

(歳出)

小杉 和也 事業説明書の中で先ほど課長の説明でもあったけれども、認知症の初期集中支援チームの設置というのがあって、今年度どこで予算組んでいるかなと思って見ていたら、349Pの人件費の部分というのもそういったことを反映しているのかどうか。去年はこの部分がなかったように思うのだけれども、項目で、違うのか。

(「300・・・」と呼ぶ者あり)

小杉 和也 349P。生活支援体制整備事業費の2の人件費。

介護高齢課長 今のご質問の認知症初期集中支援チームについては、351Pの医師報償12万5,000円、これである。

小杉 和也 いろいろと組み替え、認知症カフェ事業とか、去年のを見ると項目がかなり違っていているようなものもあるのだけれども、その辺はこういったことも反映しているのか。初期の体制づくりということで、どうか。

介護高齢課長 今認知症の方が相当ふえているということで、それにしっかり取り組もうということで、委員言われるように、そういうような体制に整えたということである。

板垣 一徳 さっき課長認知症の徘徊者、徘徊する人、GPSの対応ということをさっき申ししていたが、これは申し出ればなるのではなくて、医者診断書とかそういう、ちょっとそこもう少し詳しく説明していただけるか。

介護高齢課地域包括支援センター長 ご本人の申し出により対応することとしたいと思う。

板垣 一徳 ご本人といってもお医者さんから徘徊してみると、この辺であれば黒川病院かはなまず連れていってお医者さんに診てもらって、そしてこれは徘徊が強くなったから気をつけなさいよとか、あるいは入院させなければだめだよとかという医者の診断出る。まだ、だけれども大丈夫だから、家で何とかして置きたいという人いるのだ、今。なるべく入院させなくて自分のところで面倒して家で介護するから置きたいという人いる。その場合GPSをつければ安心ということはないけれども、個人ということ、家庭の人が市役所に申し出ればこのGPSをもらえるということなのか。

介護高齢課長 GPSについては実際お医者さんの証明とかそういったところまで今考えていな

い、実際には。それで1カ月の利用負担ということも考えていて、2,000円程度お願いしたいなということである。

板垣 一徳 月に2,000円。

介護高齢課長 はい。ただ、生活保護世帯、非課税世帯については無料ということである。

介護高齢課介護保険室長 補足申し上げる。要介護認定を受けている方である。うちのほうで考えているのは、認知症の徘徊GPSということでココセコムというセコムで、これは実際に一般の家庭でも使う方は実費を払って使っている方いる。これを市の事業として今やろうとしているわけであって、要介護認定を受けた方で65歳以上の方1号の被保険者と、あるいは包括も保健師もかかわっているようなケースで徘徊のおそれがある方、あるいは徘徊が頻繁に見られる方で在宅の方を、こちらで抽出というか家族との相談の中でこれをつけたらどうかというようなことで、目的は地域で安心して在宅で生活をするためにという趣旨で事業を実施する予定である。

板垣 一徳 そうすると、いわゆる市役所は紹介をするという考え方でいいのね、その業者に。

介護高齢課介護保険室長 紹介をするのではなく、市の事業を使ってぜひ申請してつけてくださいということで、利用につなげるということまでしたいと思う。

長谷川 孝 347Pの2項の地域介護予防活動支援事業経費の中で、さっき課長の説明だと1カ所ふやしたと言っていた。今までやっている地域と、それから今回ふやした地域を教えてください。

介護高齢課長 朝日地区1つと今神林地区にお声がけさせていただいて進めているし、今回提案させていただいたのはそれ以外のところで、まだはっきりこの地区ということは決定していない。

小林 重平 予算的にはあれだけでも、介護待機者は今現在何名ぐらい村上市だけで、
尾形委員長 特養か。

介護高齢課長 昨年の4月1日で全国的に調査したのであるが、そのとき388人であった。

竹内喜代嗣 今お答えあったけれども、4月1日になるので前にも聞いたような気もするが、3月1日で毎月介護認定審査開かれているので、介護認定で昨年と今年と対比して1、2、3、4、5、どうなっているかお聞きする。

介護高齢課長 平成28年の3月末で要支援1の方が245人、それから要支援2が314人、要介護1が793人、要介護2が710、要介護3が606、介護4が582、介護5が587、合計で3,837人である。

竹内喜代嗣 最新は、去年の3月しかないのか。

介護高齢課長 平成28年の12月末であるけれども、要支援1が267人、要支援2が350人、要介護1が829、要介護2が706、要介護3が617、要介護4が603、要介護5が590人である。合計で3,962人である。

竹内喜代嗣 先ほどもお聞きしたのだけれども、介護保険でも保険証が発行されていて、同じように資格証とか短期証とかというふうな発行になっているのか。わかるだろうから、願います。

介護高齢課長 そういった資格証というのはない。ただ、給付制限というか、かかっている方は1名いる。

竹内喜代嗣 1名だけ。

介護高齢課長 はい。

板垣 一徳 1点だけ、大変失礼する。特別養護老人ホームに入ると負担が安いということで、きわめてみんな利用しているのだが、今テレビを見ると特別老人ホームを持ちなが

ら介護する人が募集できなくて、村上市に幾つかあるが、ベッドをあかしておくようなことはないのだろうね、村上市は、確認。

介護高齢課長 今現在はない。

板垣 一徳 そういう傾向は、心配されることはあるか。

介護高齢課長 今全国的に介護に従事する方が不足しているというようなことを言われているし、当村上市においても実際計画上施設整備を計画しても実際やりたいというところがないというサービスもある。そのような状況で、市としてはそういった施設だけつくるのではなくて、人材確保のための施策も同時に進めていこうというふうなことで現在進めている。

渡辺 昌 先ほどの長谷川委員の質問あった通所型介護予防事業のモデル地区、具体的な集落名わかったら願います。

介護高齢課長 朝日は高根集落であるし、神林は塩谷である。

〔委員外議員〕

(「なし」と呼ぶ者あり)

以上で質疑を終結し、討論を求めたが討論なく、起立による採決を行った結果、議第15号は、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと決定した。

委員長（尾形修平君） 暫時休憩を宣する。

(午前11時14分)

委員長（尾形修平君） 再開を宣する。

(午前11時25分)

尾形委員長 先ほどの竹内委員からの質疑に対して保健医療課長から答弁を願う。

保健医療課長 先ほどの国民健康保険税の滞納額だが、平成27年度決算時だが、2億9,933万4,231円である。

板垣 一徳 もう一度。

(何事か呼ぶ者あり)

保健医療課長 失礼した。もう1回。平成28年5月31日現在の金額をお話する。大変失礼した。国民健康保険税だが、3億。ごめんなさい。3億56万3,287円である。滞納額が。後期高齢者医療保険料の滞納額だが304万3,700円である。後期高齢者医療保険だが、資格証というものはなくて短期証というものだけだそう。それで短期証の人は0ということである。

尾形委員長 ご了承願う。

○以上で当委員会に付託された案件の審査を終了し、本委員会の報告を委員長に一任することを決め閉会する。

委員長（尾形修平君） 閉会を宣する。

(午前11時26分)